

環境技術開発で 御嵩が連携協定

名古屋の企業と

環境技術の開発支援やまちの活性化を目指し、御嵩町は 11 日、航空機の設計などを手がける「キャリオ技研」（名古屋市中区）と、相互連携協定を結んだ。

電池式の飛行機や自動車の走行実験のため、町が同社に

町有グラウンドを無償で提供。同社は、間伐材でできた小型飛行機を飛ばす講座を小中学生向けに開くなど、技術を生かした教育活動をする。将来的には、電池式の飛行機にカメラを搭載し、災害時に被害状況を調べる事業などにつなげたいという。

同社はこの日、パラグライダーや小型飛行機が滑走できる施設の構想も提案した。